

第3種郵便物認可



悪の細菌から 体を守れ

子供たちに人気の戦隊ヒーローがウイルスや細菌を退治する姿を通して、免疫の仕組みを分かりやすく伝える劇を、北大道伝子病制御研究所の高岡晃教授らが考案し、24日、札幌市北区の市立白楊幼稚園で初めて披露した。

観客は同幼稚園の4、6歳児70人で、劇は約30分間。ウイルスや細菌などの悪役「ばつちいマン」と免疫戦隊「まもるんジャー」の闘いを描き、高岡教授も戦隊の司令官役で登場した。ウイルスに対して園児が抗体に見立てたボールを投げたり、ウイルスに感染した細胞に風船の武器「びりり棒」を使ったりと、さまざまな技を駆使して倒す姿を表現した。エイズウイルス(HIV)についても「司令塔がやつつけられ、指示役がいなくなり、まもるんジャーが何もできなくなる」と説明した。劇は普段目に見えないミクロの世界を知ってもらい、うがいや手洗いの大事さを知ってもらおうと企画。ウイルスや細菌の登場場面では泣きたがった園児もいたが、高岡教授は「実際は大学で学ぶほどの難しい内容だが理解してくれたのでは」として、希望があれば別の幼稚園でも上演する考えだ。

ウイルスに対して抗体に見立てたボールを投げる園児。戦隊ヒーローを通して免疫の仕組みを学んだ。

札幌の幼稚園で戦隊劇

北大教授ら「免疫の仕組み」熱演